

市民アンケート調査について

1. これまでのアンケート調査の実施状況

- 立川市では平成31年度より毎年、市民満足度調査及び市政に関するアンケート調査を実施してきた。今回の地域公共交通計画の策定においても、これまでのアンケート結果や経年変化等を踏まえて地域公共交通計画の検討を行う。

■これまで立川市で実施している主なアンケートの実施概要

年度	調査	調査概要	配布・回答状況
H30	来訪者意向調査	・JR立川駅周辺北口・南口のペDESTリアンデッキにて、立川への来街者のうち、概ね中高生以上の男女を対象に、600サンプルを目標に街頭インタビュー形式でアンケート調査を実施 ・7月20日～23日、8月5日、6日の6日間(平日3日、土日3日)	・613回収
H31	市民満足度調査	・18歳以上の市民を対象に層化無作為抽出(各町の人口規模・年代構成・男女比で比例配分のうえ、無作為抽出)に、3,000人抽出し、郵送配布、郵送回収 ・調査期間 4月1日～23日(5月23日到着分まで受け付け)	・3,000配布、1,039回収 (回収率34.6%)
R2	市民満足度調査	・平成31年度同名調査と同方式で実施 ・調査期間 4月1日～22日(5月29日到着分まで受け付け)	・3,000配布、1,157回収 (回収率38.6%)
R3	市政に関するアンケート	・18歳以上の市民を対象に層化無作為抽出(各町の人口規模・年代構成・男女比で比例配分のうえ、無作為抽出)に、3,000人抽出し、郵送配布、郵送回収 ・調査期間 4月1日～20日(5月26日到着分まで受け付け)	・3,000配布、1,092回収 (回収率36.4%)
R4	市政に関するアンケート	・令和3年度同名調査と同方式で実施 ・調査期間 4月1日～20日(5月25日到着分まで受け付け)	・3,000配布、989回収 (回収率33.0%)
R5	市政に関するアンケート	・令和3年度・4年度同名調査と同方式で実施 ・調査期間 4月1日～24日(5月26日到着分まで受け付け)	・3,000配布、956回収 (回収率31.9%)
R5	来訪者意向調査	・平成30年度同名調査と同方式で実施 ・3月14日～16日、18日、19日、21日、5月19日、20日6日の8日間(平日4日、土日祝4日)	・775回収

1. これまでのアンケート調査の実施状況

- 市政に関するアンケートにおける公共交通に関連する設問は下記のとおり。

21	お住まいの地域での公共交通の利便性
22	移動の際にバスを利用するか
23	バスを利用しない場合)利用しない主な理由
24	通勤通学を除く普段の外出での主な目的
25	通勤通学を除く普段の外出での主な交通手段
26	通勤通学を除く普段の外出で困っていること

(21) あなたのお住まいの地域では、鉄道、多摩都市モノレール、バス、タクシーなど公共交通機関の利便性が高いと思いますか。(1つを選択)



(22) 公共交通機関について、あなたは移動の際にバスを利用しますか。(1つを選択)



2. 市民アンケート調査の目的・実施概要

■市民アンケート調査の目的

- 市民の日常生活における行動範囲や移動実態、及び現状の課題認識及び将来像への意向を調査する。
- 特に「移動に課題認識を持っている主たる対象」と想定される「高齢者」に対しては、その他年齢と調査区分を分け、抽出サンプルを増やして調査する。

■市民アンケート調査の実施概要

	市民アンケート(高齢者:65歳以上)	市民アンケート(生産年齢:15歳～64歳)
調査対象者	立川市在住の65歳以上の市民 (立川市に住民票を有する、令和6年10月1日現在で65歳以上の男女)	立川市在住の15歳以上64歳以下の市民 (立川市に住民票を有する、令和6年10月1日現在で15歳以上64歳以下の男女)
抽出方法	1,600人	1,400人
回収目標	560票(回収率35%想定)	420票(回収率30%想定)
調査方法	郵送配布・郵送回収/web回収	同左
調査期間(予定)	令和6年10月10日発送から10月31日回答投函締切	同左
その他	・アンケートは無記名であり、調査結果はすべて統計的に処理	同左

3. 市民アンケート調査の設問項目

■設問項目(1/3)

→ 具体の調査票は資料4-2

設問		活用方法
1-1 個人属性	<ul style="list-style-type: none">・年代・住所・家族構成・同居家族の年齢・自動車運転免許の保有状況・免許返納意向・東京都シルバーパスの利用有無・自動車の保有状況・バイク・原付の保有状況・自転車の保有状況・家族等による送迎の状況・外出に関する身体的な困難さ	<ul style="list-style-type: none">・基本属性として、以降の設問とのクロス分析に利用
1-2 交通・外出属性	<ul style="list-style-type: none">・最も使う鉄道駅／自宅からの交通手段・最も使うバス停／自宅からの徒歩所要時間・1週間の外出頻度(平日・休日別)	<ul style="list-style-type: none">・各駅の利用圏域把握・バス停アクセス不便地域の把握・基本属性として、以降の設問とのクロス分析に利用

3. 市民アンケート調査の設問項目

■設問項目(2/3)

→ 具体の調査票は資料4-2

設問		活用方法
2-1 最もよく出かけた 目的での移動実態	<ul style="list-style-type: none">・移動目的・移動先カテゴリ(スーパー、病院、行政施設等)・移動先(市内:施設名/市外:市区町村名または最寄り駅)・移動頻度・立川市内での利用交通手段・自宅からの所要時間・バス利用理由/不使用理由	・基本属性とのクロス分析により、圏域ごとの行動範囲や移動実態の把握 →生活像の整理に活用
2-2 2番目によく出かけた 目的での移動実態	同上	
2-3 3番目によく出かけた 目的での移動実態	同上	

3. 市民アンケート調査の設問項目

■設問項目(3/3)

→ 具体の調査票は資料4-2

設問		活用方法
<p>3 立川市の公共交通 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスについて (利用頻度/認知度/満足度) ・くるりんバスについて (利用頻度/認知度/満足度) ・地域公共交通の満足度 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性とのクロス分析により、圏域ごとの満足度や認知度を把握 ・認知度や利用頻度の差による満足度の変化を確認 →計画の基本方針や目標への反映
<p>4 立川市内の 公共交通に関する お困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段が理由で外出をあきらめた移動 (有無/行きたかった行先/理由) ・将来、自動車や自転車が利用できなくなった場合、日常生活を送るうえで公共交通を利用して行きたい場所 (スーパー、病院、行政施設 等) ・普段の移動において立川市内でバスや駅を利用するにあたり、各項目の重要度 ※各項目それぞれ5段階で把握 (項目: 定時性、時刻表のわかりやすさ、バス停までの距離、目的地までの距離、運賃、運行本数、乗換回数、バス停の利便性、乗継の案内のわかりやすさ、ロータリーの利用しやすさ、駐輪場の整備状況、その他駅の利便性) ・将来の立川市の公共交通へのご意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性とのクロス分析により、圏域ごとの課題を把握 →計画の基本方針や目標への反映 ・基本属性とのクロス分析により、将来の移動希望を把握 →将来像の整理に活用